

やってみよう！ ダンボールコンポスト



ダンボールコンポストってなに？

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用した生ごみ処理容器のことです。その仕組みは、ダンボール箱の中に「土壌改良材」を入れた簡単なもので、微生物の力によって生ごみを分解し、堆肥を作ることができます。



どうして段ボールを使うの？

生ごみを分解してくれる微生物の活躍には【酸素】が必要となります。ダンボール箱は、全面で空気を吸収し、ある程度水分調整をし、かつ外気温の変化の影響も受けにくいということで、とても理想的な素材といえます。

また、機械式の生ごみ処理機など違い、電気を使わないので、省エネにもつながります。



- ◎ 生ごみをいつでも処理できるので、収集日まで生ごみを保管しておく必要がなくなります。
- ◎ 一つのコンポストで毎日生ごみを処理しても3～6カ月間使用できます。
- ◎ 使用済みの廃食用油もそのまま処理できます。
- ◎ 完成すると安全な肥料として使うことができます。

準備するもの

【基材】

- ・ダンボール箱
- ・ガムテープ
- ・新聞紙
- ・防虫ネット
- ・水、または米のとぎ汁
- ・底上げ台（ブロック、カゴ、苗ケースなど）
- ・ピートモス（ホームセンターで購入可能）
- ・くん炭（ホームセンターで購入可能）



【あると便利なもの】

- ・スコップ、シャベル
生ごみを混ぜるときに使う
- ・はかり
生ごみの重さをはかる時に使う
- ・温度計
生ごみが分解するときの温度を測る時に使う

ダンボールコンポストの作り方

【STEP1】ダンボールを組み立てる

ダンボールを組み立て、底面や隙間をガムテープで補強する。
余分な水分を吸収させるために、新聞紙を段ボールの底に敷く。

【STEP2】ピートモス・くん炭を投入する

ピートモス、くん炭、水（または米のとぎ汁）を入れてよく混ぜる。
強く握って、軽く固まればOK！

割合はピートモス3：くん炭2。ダンボールの7割位を目安に投入してください。



【STEP3】 生ゴミを入れる

生ゴミを投入し、基材とよく混ぜるように全体をかき混ぜる。
防虫ネットなどでフタをして、虫が入らないようにする。
通気性を保つために、風通しの良い場所に設置する。
※底上げ台の上にのせ、壁などからもある程度離してください。
使用期間は約3～6か月間投入できます。



【STEP4】 堆肥化

生ゴミの投入をやめ、生ゴミの形がなくなるまでは水分を保ちながら、週1回はかき混ぜる。

生ゴミの形がなくなったら水分を与えず週1、2回かき混ぜる。

その後、基材の水分がなくなり、サラサラの状態になったら1ヶ月以上寝かせて堆肥の完成です。

入れて良いもの・良くないもの

◎良いもの

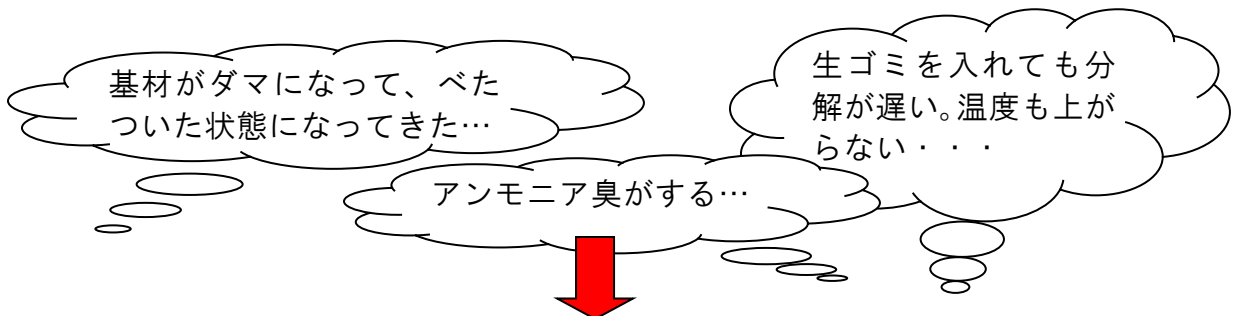
- ・炭水化物
- ・野菜や果物の切りくず
- ・コーヒーかす、茶がら
- ・加熱した肉、魚
- ・揚げ物した後の油

△良くないもの

- ・生肉、生魚…においの原因になる。
- ・柑橘類…殺菌成分があるため、発酵の妨げになる。
- ・たまねぎの皮、とうもろこしの皮…分解されにくい。
- ・肉や魚の骨…分解されにくい。
- ・漬物、味噌…塩分が強いと堆肥に向かない。

生ゴミ投入のポイント

- ・入れられる目安の量は1日当たり500g程度（25ℓの場合）
- ・基材が乾燥してきたら、水を加えてかき混ぜる
（ほこりが立たない程度に）
- ・生ゴミを入れない日も、空気を取り込むためにかき混ぜる
- ・生ゴミは細かくすると、分解されやすくなる
- ・分解が順調に進んでいると温度が20～40℃になる
（温度計があると便利）
- ・使い終わった食用油（コップ1杯程度）やご飯、肉などのカロリーが高いものを加えると温度が上がり、分解が進む



投入期間終了のサイン！

Q & A

Q：生ゴミを入れ続けて、ダンボール箱は満杯にならないの？

A：生ゴミは分解されると、体積が大きく減ります。ですが、分解されない生ゴミが大量にコンポスト内に入ると臭いの原因となるので、前日のごみが残っている時は、投入量を減らすか、追加せずに混ぜるだけにしましょう。

Q：生ゴミの分解がなかなか進みません。どうすればいいの？

A：開始してすぐは微生物が少ないため、分解が遅いことがあります。2週間ほどすると微生物も増え、分解が進み、温度は上昇していきます。それでも進まない場合は次の二つの原因が考えられます。

① 水不足……基材が乾いている状態だと分解がうまくいきません。
手で握って団子になる位まで水を追加してください。

② 気温が低い……気温が低い（10℃以下）と微生物の活動が弱まります。コップ1杯程度の廃食用油や米ぬかを投入すると、分解が促進されます。



Q：虫が発生してきた。対処法は？

A：基材の温度が上がると、害虫は死滅します。そのため、害虫が発生した場合にはコップ1杯程度の廃食用油や米ぬかを投入し、よくかき混ぜてください。

もしくは、1～2日ほど天日干ししてください。

コンポスト内の微生物に影響があるので殺虫剤の使用はしないでください。

Q：カビが発生したが、このままでいいの？

A：低温で管理しているとカビが発生する場合がありますが、白カビは無害なので、そのまま混ぜて大丈夫です。

青カビや黒カビが出た場合は取り除きましょう。

3品以上食べよう！朝ごはん

なないろ
プラン



なないろプラン推進キャラクター ななぼてくん